

# 浅間台

松戸市立第二中学校

令和5年度 3月号

〈 その名に込められた想いととも に ～義務教育を終える卒業生へ～ 〉

校長 佐野 公雄

私は、22年以上大切にしている新聞記事があります。大分色あせてしまいましたが、右新聞の切り抜きがそれです。2001年の『朝日新聞』に掲載されていた、読者投稿の一文です。当時、待望の第一子誕生を間近に控えていた私たち夫婦は、生まれてくる子どもにどんな名前を付けたら良いか悩んでいました。そんな時、何気なく読んでいた新聞で目にしたのが、この一文でした。集団になじめず、周りから少し遅れがちな次男の様子を心配していた母親が、ある施設の園長先生の「早く頑張らなくていいんです。芽はちゃんとあるのです。」の一言を胸に、我が子の成長を見守っていく様子が窺えました。妻と私はこの文章に強く惹かれ、どんな子でも、どんなことがあっても、慌てず、焦らず、「ゆっくりと一歩ずつ」成長していく我が子を見守っていこうと話しました。そして、風の音や川のせせらぎなど、生活の身の回りの身近なことに気付ける心穏やかな優しい子になってくれたらと思い、生まれてきた長女に「風音」という名前を付けました。そんな長女も、この春大学を卒業し、いよいよ社会人になります。子どもの成長の何と早いことか。「ゆっくりと一歩ずつ」どころか、最近では、電気をつけっぱなしで寝落ちしてしまったり、使ったグラスを片付け忘れてきたりする私を叱りつけてくるほどに成長し、どちらが世話しているか分からなくなりました。思い起こせば、幼稚園に通っている頃から、幼稚園の先生に「お休みはパパと遊んでもらうの？」と聞かれたとき、「ううん、パパで遊ぶの！」と答え、みんなを笑わせていたそうですから。



私は3年生の校長面接の際に、何人かの生徒に「名前の由来」について質問しました。少し照れくさそうに話す生徒もいますが、それぞれの名前に、保護者の方々のそれぞれの思いが込められているのを感じました。なかには、自分の名前について誇らしげに説明してくれる生徒もいて、親の思いがしっかりと届いているんだと感じ、うれしい気持ちになりました。さて、残り2週間足らずで、いよいよ卒業式です。私は、卒業式が学校における一番大切な行事だと捉えています。中学校の卒業式は、義務教育終了の節目の行事だからです。これからは、やらなければいけない学習から、自分の意志でやる学習へと変わります。やるもやらないも自分の意志であり、その結果の責任も自分にあります。本当の意味で大人へと踏み出すのです。卒業式は、これまでの感謝とこれから大人として第一歩を踏み出す意思を示す場でもあるのです。卒業式で、それぞれに願いの込められた自分の名前を呼ばれたときに、二中で過ごした3年間の想いと親や先生、そして共に過ごした仲間たちへの感謝の気持ち、そして、これからは自分自身の力でしっかりと頑張っていくんだという意思を示すような、そんな力強いみんなの「はい！」の返事を式場に響かせてください。 **Congratulations on your graduation!**

# 二中学生の歳時記

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。3年生は卒業式を間近に控え、級友とのかけがえのない思い出作りの時間となります。1, 2年生も学年末テストを終え、3年生を送る会の準備に取り組んでいます。どのような発表になるのか、とても楽しみです。



## ●AED研修

2月5日(月)、AED研修を2学年で実施しました。用務員の菅野さんを講師として救急処置の方法を学びました。「備えあれば、憂いなし」です。



## ●千葉県中学校新人駅伝大会

2月10日(土)に千葉県柏の葉公園で千葉県中学校新人駅伝が行われ、男女とも9位という素晴らしい結果を残すことができました。今後のさらなる活躍が楽しみです。



## ●思春期講習会

2月22日(木)に3年生を対象に思春期講習会を行いました。互いを尊重する大切さや、相手とのよりよい関係を築くには何が必要なのかを考える機会となりました。



## ●保護者の皆様へ(お知らせ)

<卒業式について>

3月13日(水)に本校体育館にて開催します。3学年の保護者受付は、8時45分から9時15分に、2年生の昇降口で行います。上履きと下足袋を御持参ください。

## 【3月の主な予定】

日	曜	行事
4	月	公立高校合格発表 7組校外学習
6	水	3年生卒業遠足
7	木	短縮5時間
11	月	短縮4時間 給食あり
13	水	第77回 卒業証書授与式
14	木	短縮5時間 大掃除週間(~19日)
15	金	1年校外学習
18	月	短縮4時間 給食なし 保護者会
19	火	短縮4時間 給食最終日
20	水	春分の日
21	木	大掃除
22	金	修了式
29	金	辞校式

「子育て相談」について  
 子育ては不安と悩みの連続。「どうしたらいいんだろう」と思ったとき、市と子育て支援事業者が一丸となって保護者をバックアップします。一人で抱え込まず、相談してください。

子ども家庭相談課 相談専用ダイヤル：366-3941  
 ※様々な家庭に関する相談を18歳未満の子どもに関する相談を受け付け、必要に応じて学校や関係機関と連携しながら、継続的に支援しています。

「教育相談体制」について  
 年度末や年度初めは特に、ストレスが高まり、情緒が不安定になることで生徒間のトラブルが増加する傾向にあります。いじめを含む問題行動の未然防止や早期発見のための教育相談は随時行っておりますので、困ったことがあれば、お気軽にご連絡ください。  
 第二中学校：047-363-7205